

1：相談する目安の補足

- 重症化しやすい方：高齢者、糖尿病、心不全、呼吸器疾患（COPD等）等の基礎疾患のある方や透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方。
- 妊婦の方については、念のため、重症化しやすい方と同様に早めにご相談ください。
- 症状が4日以上続く場合は必ずご相談ください。症状には個人差がありますので、強い症状と思う場合にはすぐに相談してください。解熱剤を飲み続けなければならない方も同様です。
- この目安は、相談・受診する目安です。検査については医師が個別に判断します。

2：クラスターについて

「クラスター」は、報道などで広く認知されているもののほか、患者と時間を共有した場所の密室の度合いや人の密集度により個別に判断するものも含まれます。

3：鑑別（例）

- ・季節性インフルエンザ迅速検査
- ・その他検査可能な迅速検査（RSウイルス、マイコプラズマ、ヒトメタニューモ、溶連菌、肺炎球菌等）
- ・すべての鑑別を求めるものではありません。

4：疑似症の要件（令和2年5月13日付け健感発0513第4号厚生労働省健康局結核感染症課長通知）

- 【ア】発熱または呼吸器症状（軽症の場合を含む。）を呈する者であって、新型コロナウイルス感染症であることが確定したものと濃厚接触歴があるもの
- 【イ】37.5 以上の発熱かつ呼吸器症状を有し、発症前14日以内に新型コロナウイルス感染症の流行が確認されている地域に渡航又は居住していたもの
- 【ウ】37.5 以上の発熱かつ呼吸器症状を有し、発症前14日以内に新型コロナウイルス感染症の流行が確認されている地域に渡航又は居住していたものと濃厚接触歴があるもの
- 【エ】発熱、呼吸器症状その他感染症を疑わせるような症状のうち、医師が一般に認められている医学的知見に基づき、集中治療その他これに準ずるものが必要であり、かつ、直ちに特定の感染症と診断することができないと判断し、新型コロナウイルス感染症の鑑別を要したもの
- 【オ】アからエまでに掲げるほか、次のいずれかに該当し、医師が新型コロナウイルス感染症を疑うもの
 - ・37.5 以上の発熱かつ呼吸器症状を有し、入院を要する肺炎が疑われる（特に高齢者又は基礎疾患があるものについては、積極的に考慮する）
 - ・新型コロナウイルス感染症以外の一般的な呼吸器感染症の病原体検査で陽性となった者であって、その治療への反応が乏しく症状が増悪した場合に、新型コロナウイルス感染症が疑われる
 - ・医師が総合的に判断した結果、新型コロナウイルス感染症を疑う